

報道関係者各位

## IQVIA ジャパン\* トップライン市場データ

### 2018 会計年・2019 年第 1 四半期 国内医療用医薬品市場

2018 会計年(18 年 4 月-19 年 3 月)は、10 兆 3,293 億 11 百万円(前年比 1.8%減)  
 2019 年第 1 四半期(1 月-3 月)は、2 兆 4,877 億円 24 百万円(前年比 0.3%減)

- 2018 会計年は 4 年連続で 10 兆円を超えたが、2 年ぶりのマイナス成長となった。
- 2018 会計年の上位 10 薬効「L01 抗腫瘍剤」は前年比 10.8%増で、2012 年度からトップを維持。
- 2019 年第 1 四半期は、2018 年第 2 四半期から 4 期連続のマイナス成長となった。

\*2018 年 4 月 1 日から、クインタイルズ・トランスナショナル・ジャパン株式会社およびアイ・エム・エス・ジャパン株式会社は、IQVIA(アイキューヴィア)ジャパングループとして、新たな社名と経営体制で活動してまいります。

2019 年 5 月 21 日、IQVIA ジャパングループ(本社:東京都港区、会長:湊方彦)は、2018 会計年(18 年 4 月-19 年 3 月)と、2019 年第 1 四半期(1 月-3 月)の日本医療用医薬品市場(薬価ベース)を、「IQVIA ジャパン トップライン市場データ」として発表しました。

IQVIA ジャパングループは、日本のヘルスケア産業の発展と透明性の創造、および社会の皆様に日本のヘルスケア市場についての理解を深めていただくため、市場規模や薬効、製薬企業および医薬品の売上、処方、疾病に関するトップラインデータをメディアや医療・医学の研究に携わっている学術研究機関に提供しています。トップラインデータを開示することで、弊社は皆様と情報の共有化を図り、日本のヘルスケアの発展に貢献したいと考えています。

【2018 会計年(18 年 4 月-19 年 3 月)】日本医療用医薬品市場のトピックは以下の通りです。

- 上位 10 薬効で順位の入替わりはあったが、新たなランクインやランクアウトの薬効はなかった
- 「L01 抗腫瘍剤」は、前年度初めて 1 兆円を超え、当該期間も前年比 10.8%増で引き続きトップ
- 「C09 レニン-アンジオテンシン系作用薬」は、前年比 22.8%減で 5 年連続のマイナス
- 「J05 全身性抗ウイルス剤」は、前年度の 23.8%減から、7.6%減とマイナス幅が縮小
- 「C10 脂質調整及び動脈硬化用剤」は、前年比 15.1%減で 3 年連続でマイナス

【2019 年第 1 四半期(1 月-3 月)】日本医療用医薬品市場のトピックは以下の通りです。

- 上位 10 薬効で順位の入替わりはあったが、新たなランクインやランクアウトの薬効はなかった
- 「L01 抗腫瘍剤」は、四半期ベースで 2016 年第 2 四半期以降薬効別の売上トップを続け、2018 年第 1 四半期以降、上位 10 薬効中最高の伸び率を維持
- 「L04 免疫抑制剤」は、前年比 6.1%増で順位を 2 つ上げて 5 位になった
- 「J05 全身性抗ウイルス剤」は、前年比 22.7%減で順位を 3 つ落とし 6 位になった
- 「C09 レニン-アンジオテンシン系作用薬」は、前年比 15.5%減で順位を 2 つ落とし 8 位になった

\* IQVIA ジャパン「日本医薬品市場統計」における「薬効」は ATC 分類に準拠しています。

本項の「ATC 分類 (Anatomical Therapeutic Chemical Classification) は、EphMRA (European Pharmaceutical Market Research Association : 欧州医薬品市場調査協会) により管理されている、アナトミカル薬効分類 (作用部位別薬効分類) に準じており、日本医薬品市場統計作成にあたっては、定期的に最新最適な状態に見直しを図っています。

\*\*IQVIA ジャパン「日本医薬品市場統計」における「販売会社レベル」と「販促会社レベル」の定義は以下の通りです。

- 販売会社レベル: 卸店に対して製品を販売し、その代金を回収する機能を持つ製薬企業。
- 販促会社レベル: MR による学術宣伝を通じて販促活動を行なっている製薬企業。

## IQVIA について

IQVIA (NYSE:IQV) は、先進的かつ高度な分析力と機能、革新的テクノロジー、および臨床試験サービスをライフサイエンス業界の皆さまへ提供する世界的なリーディング企業です。IMS Health と Quintiles の統合により誕生した IQVIA は、ヒューマン・データ・サイエンス (分析の精緻さとデータサイエンスの明晰さを、拡大し続けるヒューマンサイエンスの領域に対し活用すること) を用いることにより、ヘルスケア企業の皆さまが臨床開発とコマーシャル領域におけるこれまでに無いアプローチを、新たなイマジネーションの下で発展させ、イノベーションを速め、ヘルスケア・アウトカムの改善をより一層加速させることを支援します。私たちの原動力である「IQVIA CORE™」によって、IQVIA は実務実行力を伴いながら、大規模な分析、革新的なテクノロジー、そしてスペシャリストによる幅広い専門知識、これらが交差する地点に、実用的且つ唯一無二のインサイトを提供しています。私たち IQVIA は、現在 5 万 8,000 人が、世界 100 以上の国と地域で活動しています。

IQVIA は、患者の皆さまの個人情報保護の分野においても、世界をリードしています。医療関係者の皆さまが、疾患のパターンを特定し、より良いアウトカムの実現のために必要である明確な治療方針や治療法の関連づけに資する規模での情報を収集・分析すると同時に、様々なプライバシー保護のための技術や安全対策に取り組んでおります。IQVIA が持つインサイトや実務の実行力は、治療・治癒の実現に向かい尽力するバイオテクノロジー企業、医療機器メーカー、製薬企業、医学研究機関、政府機関、保険者やその他様々な医療関係者の皆さまによる疾患そのものや人間の行動、サイエンスの進歩に対する更なる理解の深耕を支援します。IQVIA の詳しい情報はこちら ([www.IQVIA.com](http://www.IQVIA.com)) をご覧ください。日本向けの URL はこちら ([www.iqvia.co.jp](http://www.iqvia.co.jp))

※IMS Health と Quintiles のグローバル統合ブランド“クインタイルズ IMS”は、2017 年 11 月 6 日 (米国東部標準時) に“IQVIA”となりました。日本法人では 2018 年 4 月 1 日をもちまして IQVIA ジャパングループとなりました。

## 本件に関するお問合せ先

IQVIA 広報マーケティング統括部 広報担当

TEL 03-6894-5420

Email [jp.coms@iqvia.com](mailto:jp.coms@iqvia.com)